

指定管理者（候補者）の選定の方法及び結果について

施設名： 秋田県営住宅及び共同施設

● 選定の方法

- 1 申請団体から提出された事業計画書等により、選定基準に沿って設定した審査項目ごとに各委員が評価（評点付け）を行った。
（評点）
5点：特に優れている 4点：優れている 3点：やや優れている 2点：やや劣っている 1点：劣っている
- 2 全委員の評点を合計し、選定基準のウェイトをもとに評点の合計を100点換算した。（満点を100点として再計算）
- 3 2をもとに委員間で総合的観点から議論・検討するとともに申請者の適格性を審査し、指定管理者の候補者として選定した。

○ 評点表

	1 県民の平等利用の確保 （適合しなければ失格）	2 施設の設置目的の効果的な達成 （満点：35点）	3 効率的な管理 （満点：10点）	4 適正かつ確実な管理を行う能力 （満点：40点）	5 その他施設の設置目的、性質に応じて定める基準 （満点：5点）	6 県の重要施策推進に係る項目 （満点：10点）	合 計 （満点：100点）
（一財）秋田県建築住宅センター	○	27.6	7.0	29.6	3.8	0.0	68.0
朝日総合（株） 朝日レジデンシャル（株） （株）ホームクリニックJV	○	21.6	6.2	23.4	3.2	0.0	54.4

■ 総合評価（選定結果）

- 各項目の評価を評定の間差点3点（「やや優れている」）とした場合の合計点となる60点を選定の目安として審査した。
- ◎ 委員の意見を集約し、候補者としての適格性が認められたことから、評価点が上位の「（一財）秋田県建築住宅センター」を指定管理者の候補者として選定することに決定した。
- 【主な意見】
- 苦情トラブルに対し、関係機関と連携し、迅速かつ丁寧な対応が期待できる。（建築住宅センター）
- 高齢な入居者の多い県営住宅にとって、「ほのぼの推進員」（建築住宅センター）や24時間受付対応（朝日総合ほかJV）は有用である。
- 修繕予算が限られている中で、安定的に修繕対応していくための工夫が必要である。